



みつけてん!



準備万端? いよいよ入試スタート!

2月10日から私立高校の入試が始まります。17日には公立推薦・特色・多部制Ⅰ期入試も行われます。みなさん、準備は万全でしょうか。「入試まであと〇日……」と考えたり、インターネット等で出願状況や倍率を見たりすると、焦る気持ちになるかもしれません。しかし、みなさんには、応援してくれる保護者の方、地域の方、先生たちがついています。同じ目標を持って一緒に頑張っている仲間もいます。焦らず、あきらめず、油断せず、今できる準備を最後までしていきましょう。

〇2月の入試関係の日程〇

- 4日(火) 公立推薦・特色・多部制出願(～6日12時)
- 10日(月) 11日(火) 私立入試
- 16日(日) 高専学力入試
- 17日(月) 公立推薦・特色・多部制入試
- 22日(土) 公立推薦・特色・多部制合格発表
- 25日(火) 特別支援学校高等部入試
- 26日(水) 公立学力出願(～28日12時) 高専学力発表



私立・公立推薦・特色・多部制入試に向けて

☆学習面☆

1. 確実にできる問題に取り組む。

この時期、真面目にまんべんなく勉強しようとすればする人ほど、できていないところが気になるものです。今は各高校の傾向に合わせて、確実に点が取れそうな問題や、毎年出題されているような問題に取り組みましょう。

2. 論作文は一日一題は必ず書く。

入試に作文がある人は、過去に出題されたテーマを中心に、毎日必ず時間を計り、一題は書くようにしましょう。書いた文章は必ず誰かに読んでもらい、アドバイスを受けましょう。

3. 面接練習はできる限りする。

入試に面接がある人は、過去に出題されたテーマについては必ず話す内容を考え、練習しましょう。特に私立を専願で受験する人、公立推薦・特色・多部制を受検する人は、家の人や先生など、できるだけたくさんの人をお願いして、何度も練習をしておきましょう。

4. 受験に必要なものをそろえる。

試験の時に使う鉛筆や消しゴム、定規やコンパスなどの文房具などをそろえておきましょう。鉛筆や定規は持ち込めるものかどうか確認しましょう。

☆生活面☆

1. 生活リズムを整える。

今は、無理して夜遅くまで勉強する時期ではありません。学校から帰ったら早めに勉強に取りかかり、十分な睡眠時間を確保しましょう。できれば早めに起き、余裕を持って準備をしたり、登校したりしましょう。また、食事をしっかり取り、うがいや手洗いをし、風邪やインフルエンザの予防もしましょう。入試当日の朝に、験を担ぎすぎて、朝からステーキやトンカツなどを食べるのは、胃腸がびっくりするので控えましょう。

2. 服装や持ち物を確認する。

制服が破れていないか、ボタンがはずれていないかどうか、汚れていないかどうかを確認しましょう。当日、お弁当があるかどうか確認し、家の人に伝えましょう。受験番号と高校の電話番号は、必ず生徒手帳に控えておきましょう。当日に乗る電車やバスの時刻は早めに調べ、友だちと待ち合わせ時刻や待ち合わせ場所も決めておきましょう。

<面接>

- ・出入りの仕方は、高校からの指示に従う。
- ・受験番号や名前、出身中学校名を言うときは、高校から指定された順番通りに言う。
- ・「失礼します」「お願いします」など、話しながら礼をしたり、歩いたりしない。
- ・座り方、礼の仕方は入学式や卒業式のときのように行う。
- ・自分が話すときはもちろん、他の人が話しているときによそ見をしない。
- ・隣の人につられず、自分が正しいと判断した行動をとる。
- ・うまく話せないときに、笑ってごまかさない。
- ・知らないことを聞かれたら、「すみません、わかりません。帰って調べます。」と答える。
- ・できるだけ柔らかい表情で話すよう心がける。
- ・「この学校に入りたい」という熱意を持って話す。
- ・はじめに結論を言い、その理由や説明を述べる。

<論作文>

- ・できるかぎり制限字数いっぱいを書く。
- ・常体(だ・である)と敬体(です・ます)をまぜて書かない。
- ・「学んだこと(事)」「失敗したとき(時)」など、形式名詞は平仮名で書く。
- ・時間が足りなくても、必ず文章を書き終える。文の途中で終わらないこと。
- ・文字は楷書で丁寧に書く。
- ・特に指定がなければ、結論→具体例・説明→結論の三段構成で書く。

